

希望を胸に 入学・入園

町内の小・中・高校やこども園では、4月に入学式・入園式が行われ、新入生たちが希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。



緊張した面持ちで入学式に臨む緑小学校の1年生

町内小学校に 107 人が入学

町内6小学校の入学式は4月8日に行われ、1年生107人が小学校生活をスタートさせました。

12人が入学した緑小学校では、一人一人が呼名された後、佐藤秀一校長が「小学校では楽しい行事がたくさんあります。明日からも素敵な笑顔で学校に来てください」と式辞を述べました。在校生を代表して6年生の佐藤あかりさんが「これからたくさんの思い出を一緒に作れることを楽しみにしています」と歓迎の言葉を述べました。

期待を胸に新たな一歩

町内3中学校の入学式は4月6日に行われ、新入生96人が希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

このうち59人が入学した猪苗代中学校では、小杉一浩校長が「中学校生活ではつらいことや困難なことにへこたれることなく、何事も成し遂げてください」と式辞。新入生を代表して藍原里乃さんが「これからの中学校生活に不安な気持ちもありますが、自分自身を向上させ責任ある中学生になることを誓います」と誓いの言葉を述べました。



新たな一歩を踏み出した新入生(猪苗代中学校)

夢の実現に向けて

猪苗代高校の入学式は4月9日に行われ、普通科の23人が高校生活をスタートさせました。

式では、佐々木理夫校長が全員の入学を許可し「大いに夢を抱き、高校生活の3年間で夢の実現に向けて努力し、自分自身の目標に向かって精進してください」と式辞。新入生を代表し、安部巧海さんが「今は不安な気持ちでいっぱいですが、一人一人が行動に責任を持ち、自立した学校生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる安部さん(左・猪苗代高校)

ひまわりこども園入園式

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われました。

このうちひまわりこども園では、乳児部と幼児部の合わせて96人が入園しました。式では、新入園児たちが保護者に拍手で迎えられ入場。新入園児たちは、自分の名前が呼ばれると大きな声で返事をしました。大嶋善一園長が「こども園はみんなと一緒に楽しく過ごすところです。毎日お友だちと元気に楽しく遊んでください」と式辞を述べました。



入園式に臨む新入園児(ひまわりこども園)

キラッ人いなわしろ

4月1日に道の駅猪苗代の駅長に就任した二瓶盛一さん。二瓶さんは福島民報社で記者や編集者として活躍した後、さまざまな要職を歴任してきました。「これまでとは違う業種ですがやりがいを感じますし、毎日が楽しいです」と古里での新たなスタートに目を輝かせます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在(4月22日現在)は規模を縮小して営業している道の駅猪苗代。感染症拡大防止に使命感を感じつつ、営業時間短縮でできた時間を有効活用して、従業員の研修や店舗の見直し、商品の点検など、施設の魅力向上に余念がありません。

「地域振興施設として町内の農業や商工業、そして観光が元気になるための拠点として対応していきたい」と話す二瓶さんは、商品の販売促進だけでなく、人と人とのつながり通じて地域の良さを発信していきたいと考えています。「例えば、お客様が道の駅で気に入った商品があれば、『この店に行けば他にもこんな商品がありますよ』などと声を掛けて実際の店舗にも足を運んでもらい、猪苗代の良さをもっと知ってもらいたいです」とコミュニケーションの大切さを訴えます。

二瓶さんは「何より、町民の皆さんに愛される施設を目指します」と力強く抱負を話しました。



二瓶 盛一 さん(木地小屋)

Profile

昭和28年生まれ、町内木地小屋出身。昭和52年福島民報社に入社。以降、記者・編集者として敏腕を振るう。常務取締役、専務取締役などの要職を歴任後、同社を退職。民報印刷代表取締役などを経て昨年10月に道の駅猪苗代支配人に就任。今年4月から現職。

地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

橋本 真由 さん

主な活動内容：有害鳥獣対策

4月に千葉県野田市から移住してきました橋本真由です。主な業務は有害鳥獣対策で、町民の皆さんが行う対策のお手伝いをさせていただきます。私は、小さい頃から植物や動物が好きで将来は生物に関わる仕事がしたいと思い、農業高校の園芸化学科を経て、自然環境系の専門学校に進学しました。専門学校では哺乳類や植物、昆虫類など自然環境に関わる仕事について学びました。その中でも二ホンジカやイノシシ、サルを対象にした獣害対策に興味を持ち、卒業後は獣害対策に取り組みたいと考えていました。猪苗代町には学生時代にサルの調査会でお世話になりました。そこで見た景色がとても魅力的で、猪苗代町で獣害対策に取り組みたいと思い、協力隊に応募させていただきました。早く町になじめるように頑張りたいと思いますので、見かけたら声を掛けていただけるとうれしいです。有害鳥獣の被害を少しでも減らせるよう、電気柵の設置やサルの追い払いなどに取り組んでいきます。